

長沢小学校



現校章



旧校章

校章の由来

大正13年伊與田次郎作氏寄贈の校旗に使用されていた図案を、平成3年度から改めて校章として使用。途中、昭和30年から平成3年まで使われていた校章は、現在、長沢町旗に残っている。

一 真清水の せせらぎや
音羽川 源はるか
掬めど つきぬ 心の泉
あ、われら われらが 矜持
うるわし 長沢

二 さみどりの におやかに
京ヶ峯 双葉は かおり
若き力 大地に溢る
あ、われら われらが 希望
うるわし 長沢

三 あたらしき あげほのや
高らかに 平和を讃えむ
聖き生命 理想に燃えて
あ、われら われらが 夢よ
うるわし 長沢



PTA勤労奉仕 (S32)
給食用割木、シイタケ原木運び



給食風景 (S39)



卒業生 (M40)



忠魂碑と卒業生 (M43)



学校前の旧東海道でマラソン大会 (S30頃)



センダンの木の周りで運動会 (S31)

～地域の方から学ぶ60年前の長沢小学校～

60年前の長沢小学校は、運動場が狭くて、その運動場の真ん中に、黄金の木とせんだんの2本の大きな木がありました。高さは10mぐらいあったそうです。その木は、運動場を広げるために切られてしまいました。昔、運動場の前に流れていた小川は、今も広がった運動場の下を流れているそうです。昔の教室の机も見せてもらいました。机は、とても小さくて、今の教科書やノートだとはみ出そうでした。校舎も小さく、1階建てで、廊下のそうじは、大変そうでした。

今は、遊具とか冷蔵庫とかストーブとかあるけれど、それはあたりまえじゃないということを学びました。60年前のけしきは、どんなけしきだったんだろうなあ。

(3年児童感想)



黄金樹伐採 (S42)



全校鼓笛隊 (S42頃)



春の校舎 (H26)

- 1872 (明 5) 学制布達 長沢は赤坂郷学校区
- 1873 (明 6) 長沢に赤坂郷学校支学校設置 上は慶忠院、中は誓林寺、下は洞泉寺が仮校舎
- 1877 (明10) 現在地(元御殿跡の官有地)での開校決定
- 1878 (明11) 8月15日校舎落成 9月30日開校
- 1879 (明12) 西校舎が役場になったため2階建校舎1棟増築
- 1908 (明41) 校舎新築 昭和42年まで約60年間利用
- 1949 (昭24) 戦争で中断されていた修学旅行再開
- 1950 (昭25) 校庭の大銀杏伐採
- 1951 (昭26) 1月23日完全給食開始 校歌制定
- 1955 (昭30) 萩、赤坂、長沢が合併して音羽町となり、音羽町立長沢小学校と改称 公民館完成
- 1967 (昭42) 運動場拡張 黄金樹伐採 岩石園設置
- 1970 (昭45) 1月31日現校舎完成
- 1974 (昭49) プール竣工
- 1975 (昭50) 健康優良校(全国)特選
- 1984 (昭59) 3月6日体育館完成
- 1992 (平 4) 作文教育で博報賞受賞
- 1994 (平 6) グリーンヒル造成 全国小中学校環境教育賞受賞
- 1998 (平10) 校門から玄関まで改修
- 1999 (平11) 区、PTAからの支援や学校林の収益で校旗を新調
- 2000 (平12) 日本善行会より自然保護活動で表彰
- 2001 (平13) 校庭でドングリの林作り
- 2002 (平14) 児童会室・資料室を学級増のため普通教室に改修
- 2004 (平16) 多目的教室を改築し、仮教室を増設
- 2005 (平17) 特別教室棟増築 既設3階部分を普通教室5部屋に改築
- 2008 (平20) 1月15日音羽町が豊川市に合併 豊川市立長沢小学校と改称
- 2012 (平24) 忍者とりで設置
- 2013 (平25) 自校給食廃止 学校林にミツバツツジとドウダンツツジを植林



大正8年ごろの校舎



昭和40年頃の校舎



新校舎 (S45)

明治5年学制発布にともないお寺などを仮校舎とし、和尚さんを仮教師に授業を始めた。明治10年現在地(御殿跡)での開校を決定。当時は松の大木や雑木が繁茂していた土地を村民が開墾して、校舎2棟を建て、明治11年開校した。

明治41年新校舎改築。当時としては近代的な立派な校舎で、昭和44年の改築まで60年間も使用され、多くの長沢の人たちが学んだ。昭和45年、現校舎竣工。

教育に熱心な土地柄もあり、学校も住民の期待に応え、昭和50年の健康優良校(全国)特選を始め、作文教育での博報賞、全国環境教育賞、日本善行会からの表彰など、数々の表彰を受けている。

平成6年よりグリーンヒルが造成され、児童数も平成22年には290名ほどに増加したが、現在(平成27年)は、198名。